

コロナと戦争の危機に立ち向かい
社会を変える労働者の力を結集しよう

11.7 終わらせよう！新自由主義 とめよう！改憲・戦争

全国労働者総決起集会

闘う労働組合の全国ネットワークをつくろう

2021年11月7日(日)

正午 東京・日比谷野外音楽堂

■ 15:00 デモ 改憲阻止！1万人行進
日比谷→銀座→東京駅

呼びかけ

全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部

全国金属機械労働組合港合同

国鉄千葉動力車労働組合

国鉄分割・民営化に反対し、1047名の解雇撤回闘争を支援する全国運動

改憲・戦争阻止！大行進

- ▼新自由主義を終わらせる
労働運動の再生を！
- ▼国鉄分割・民営化型大攻撃—
一関西生コン支部弾圧粉碎！
- ▼改憲阻止！菅政権を倒そう！



事務局・連絡先 国鉄千葉動力車労働組合 千葉市中央区要町2-8 DC会館 TEL 043-222-7207 FAX 043-224-7197



11・7労働者集会への賛同と参加を呼びかけます



●労働者の団結の力をとりもどすとき

多数の反対を押し切って五輪を強行し、コロナ感染爆発と医療崩壊を引き起した菅政権は断じて許せません。なぜ、安倍や菅のような連中が政権を握り続け、圧倒的多数の労働者・民衆の命と生活が犠牲にされ、一握りの資本家・特権階級の利益だけが守られる社会になったのか。労働者の力が弱められたからです。

労働者の力は団結にあります。その団結の土台は労働組合です。この労働組合をつぶすことから始まったのが「新自由主義」です。日本では1980年代の国鉄分割・民営化による国鉄労働運動の解体が、その突破口とされました。

国鉄分割・民営化は、20万人の労働者を職場から追い出す大攻撃でした。これに対し1047名の国鉄労働者が解雇撤回闘争に立ち、今も動労千葉、動労総連合の組合員らが和解を拒否し闘いを続けています。

今年で24回目となる11月全国労働者総決起集会は、この国鉄闘争を軸に、新自由主義に立ち向かう労働運動の再生をめざして開催されています。

集会を呼びかけている組合は、国鉄分割・民営化と闘い抜く動労千葉、スト・労組活動を犯罪にでっち上げた戦後労働運動史上最大の労組弾圧をはね返して闘う関西地区生コン支部、倒産解雇攻撃に「企業の塀を超えた地域闘争」で勝利してきた全国金属機械労組・港合同の3労組。新自由主義と闘ってきた3労組の呼びかけに応える全国の労働者、労働組合のネットワークが広がり始めています。

●もうあきらめてなんかいられない！ 11・7から労働者の反撃を！

コロナ禍は、新自由主義がもたらした医療崩壊、社会的格差の拡大、まともに食っていけない非正規職労働者の激増、貧困の連鎖、自死に追い込まれる女性…という現実を白日の下にさらしました。支配者たちは、この危機と矛盾をさらなる新自由主義と改憲・戦争によってのりきろうとしています。

こんな新自由主義は終わりにしなければならない！ もうこれ以上あきらめなんかいられないと、多くの仲間が行動に立ち上がっています。<**新自由主義と戦争に絶対反対！**> この声と力を11・7日比谷に集め、反撃を開始しましょう！

